

第42号

中六福祉だより

平成30年3月10日 中六人部地区福祉推進協議会

中六人部地区福祉推進協議会設立20周年記念式典



藤田会長挨拶



感謝状贈呈（いずみ会中六人部支部様）



感謝状贈呈（山内健喜知様）



福知山市社会福祉協議会松田会長祝辞



大槻忠一様講話



細見副会長閉会挨拶

2月27日に実施した設立
20周年記念式典の様子を
お知らせします。

『発足20周年を祝して』

社会福祉法人福知山市社会福祉協議会
会 長 松田 規

中六人部地区福祉推進協議会が発足20周年という記念すべき年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

あわせて、発足以来、中六人部地区の地域福祉の発展と充実のために、献身的にご尽力いただきました歴代会長をはじめ役員の皆様に、あらためまして敬意と感謝の意を表します。

発足された平成9年当時を振り返りますと、高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など介護ニーズの増大に対し、核家族化の進行、介護する家族の高齢化など要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況が大きく変化する中で、高齢者を社会全体で支え合う仕組みとして介護保険法が公布された年でした。

当時の高齢化率が14.5%であったのに対し、現在は27.3%と倍近く増え、ダブルケア問題（育児と介護の同時進行）や8050問題（高齢の親と中年の働かない未婚の子の同居が増加）など新たな社会問題がクローズアップされており、これまでの施策では対応が困難になっています。

国では、団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年問題を意識して、制度や分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、世代や分野を超えて「丸ごと」つながる「地域共生社会」を展望した動きを本格化しています。

しかし、よく考えると「地域共生社会」というのは、そもそも中六人部地区福祉推進協議会が早くから目指していた方向性であると思います。

中六人部地区福祉推進協議会におかれましては、発足以来中六人部地区全体を対象とした「福祉ふれあいひろば」を計画的に開催し、高齢者の引きこもり防止や住民相互の絆を深める交流に取り組んで来られました。

同時に、見守り活動、サロン活動、ふれあい配食、ふれあい会食など多様な活動を展開されており、この間、これらの活動を支えてこられたボランティアの皆さんのご尽力に心から感謝申し上げます。

「おたがいさま」の心で、お互いに思いやり支え合う活動は福祉の原点であり、これからの福祉コミュニティの形成に欠かせないものであります。

時代を先取りして、地域住民による福祉コミュニティづくりに取り組まれてこられたことに重ねて敬意を表します。

発足20周年を契機に、中六人部地区福祉推進協議会が一層ご発展されますことをご祈念申し上げますとともに、関係の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

設立当時の想い出

口田野 大槻忠一

中六人部地区福祉推進協議会設立から20年が経過したことを聞き、自身の年齢に合わせ、過ぎ去る日々の早さに驚いている昨今です。

思い返せば罔らざるも、自治協議会の担当者として命を受けまして間もなく、民生児童委員の方から、地区に福祉推進協議会が設立されていないのは、福知山市内で19地区の中で当地区を含めて3地区であることから、早く設立すべきとの具申を受けました。

その当時、民生児童委員であり、現在では他界された方もありますが、西舩誠喜さん・堀至さん・芦田純三さん・大槻一郎さん・西舩勝子さん等に、それぞれの立場で見識をいただきながら、また、先進地区の取り組み状況を参考にして、設立趣意書並びに規約や幅広い組織の編成に取り組む中で、当面は高齢者福祉を重点とした事業計画の内容とし、賛同を得て発足の運びとなりました。設立の準備に関わっていただいた方々には感謝する次第です。

当初は、啓発活動の一環として、福祉施設の見学や先進地区との交流を行い、特に地域性が似ている上六人部福祉協議会の福祉交流内容を参考にして、中六人部地区の実態に沿った取組をしました。

当時の事業で印象に残っているのは、身体に障がいのある方との交流旅行です。車椅子での参加もあり、お互いに助け合い、笑顔でふれあいが存分に出来たことを思い起こします。障がいのある人と健常者のふれあいは福祉の大切な取組の一つであろうと思います。今日では、個人情報保護の観点から福祉活動の限界見極めが大切だと思いますが……。

ハード面の取組として、すでに自治協議会からの要望も出されていました、老朽化した夏雲荘の建て替えと併せて福祉施設の建設を、福祉協議会として福知山市に要望いたしました。福祉施設とは成りませんでしたが、その5年後に芦田均記念館が地域の文化交流の拠点として建立されたことは幸いでありました。

20年の歳月を経た今日、年齢と共に記憶を辿ることの難しさを痛感しています。

福祉ふれあい広場の様子



ふれあい会食の様子



いろいろな思いが

大内山田一区民

少子高齢化が進み、当地区でも子どもたちが少なく 65 歳以上の割合が多くなっている。一人暮らしの方も数人おられ、また、高齢の方の介護をされたり、元気なおばあちゃんと一緒に暮らされている家族もおられる。

家族と一緒に元気で暮らせることは、一番幸せな事だと思う。自分の子どもたちもそれぞれ家庭を持ち元気でいてくれることは、何よりうれしいことです。私たち二人になり、これからはお互いに体に気をつけ協力して生きていかなければなあとつくづく思っています。

その少子化でいよいよ小学校も 3 月で閉校となります。あまりにも早い決定で、本当に驚きましたが、子どもたちのより良い環境での成長を願うと仕方のないことです。しかし、ずいぶん淋しくなることでしょう。統合に向けての取り組みや、公民館・自治協などの方々の奮闘を目の当たりにして、本当に大変だなと思う気持ちと、ここまでしてくださっている皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

私事ですが、18 歳から仕事に就き、65 歳でやっと定年を迎えることができました。色々な思い出が胸いっぱい詰まっています。無事にこの日を迎える事ができたのも、たくさんの人たちの支えと家族の協力のおかげでと感謝しています。これからは、地域の子どもたち見守りと、地域の方とのふれあいを大切に、また自分の小さな夢も実現出来るよう頑張りたいと思います。ほんとうにありがとうございます。

福祉活動に感謝 心の輪を大きく広げたい

大内山田一区民

中六人部福祉協議会設立 20 周年を迎えられて誠におめでとうございます。

この 20 年間の長い年月、諸先輩の英知に優れた委員の皆様方の貢献と活躍の功績に、心より敬意と感謝を申し上げます。

福祉活動、民生児童委員の常日頃の活動と貢献されている重責と苦労は、私達からは計り知れないことばかりです。現代の世の中、暮らしも昔と今では、変貌に驚くことばかりです。この中六も、【高齢化の波、空家、一人暮らし】も年々増えつつ有る現況下で、今までの対応も実践もなかなか難しく、これから、どうすれば皆が喜んでいただけるか難しい課題でしょう。



私達の年代も、年配の方々から『君たち若いもんががんばれ』と言われてきました。今もう 70 歳前に成りました。これから残された人生でこの地域に何か恩返しができることを、見つけていきたいが、とにかく今は動ける間に、どんなことでも参画していくことしか方策が見出せない。

現在、中六ふれあい広場として多彩なイベントが実施されているところに、私も機会を得て参加しているところです。そこで感じたことは、この活動も長期にわたり根気よく続けて意義深い活動は大切であり、憩いの場としての活動等は、並々ならぬ尽力と苦悩ばかりと推察いたします。この功績に感動致しました。

この活動に多くの方々に参加していただいて、中六地区の方々との会話で、心の輪を広げて、楽しい半日のひとときを明日からの暮らしに、また来月の集いに希望をもてる場を活かす為にも、数多くご来場を賜るように、参加されている方は、近所の方へお誘いあって、心の輪を大きく広げましょう。

後に成りましたが、福祉の皆様方の常日頃から私達の手足となりサポートとして、ご尽力ご厚情を賜り有難うございます。

私達も、今出来ることから、人任せにせず手を取り合って地域を、楽しく盛り上げていきましょう。その第一歩がふれあい広場へ行くことでしょう。

夏休み児童クラブ読み聞かせに参加して

笹場一区民

私は福知山市内にある朗読サークルに所属しています。普段は、会の発表会や練習をしたりボランティア活動等をしています。夏休みになると、市の子育て支援から依頼を受けて、市内の児童クラブに読み聞かせに行かせて頂いています。



毎年、6～8ヶ所、市の図書館で大型絵本や紙芝居を貸し出してもらい、お話やクイズ等と組み合わせ、会員たちと楽しんでいます。

作品選び、登場人物の役割、日程プログラムも出来上がり、いよいよ子どもたちの前で発表です。どのクラブも始めと終わりは、先生や子どもとの挨拶があります。

10数名～100名以上のクラブもあります。子どもたちの目が一斉にこちらに注がれると、緊張してしまいます。子どもたちは正直で素直です。悲しい話は涙を流し、面白い話は大きな声で笑ってくれます。しかし、時には途中で飽きてきて、ザワザワすることがあります。そんな時は、どうすればこっちに引き込めることが出来るかを考え、読み方を工夫したり読む作品を入れ替えたりして、冷や汗をかきながら一生懸命発表して、可愛い拍手を一杯受けた時は、ホットすると同時にこの活動をやって良かったと思う瞬間です。

先生方のご苦労も感じ取れます。本当にご苦労様です。でも、どの先生も暖かい眼差しで見守っておられます。だからこそ、子どもたちは安心して、クラブにいる間は過ごすことが出来ます。また、親御さんも安心して仕事に励むことが出来るのだと思います。

来年度も依頼があれば、もっともっと勉強して、いい作品を喜んで子どもたちに聞いてもらえるように頑張りたいと思います。

新年に思うこと

笹場 一区民

私は65歳で退職したら、先ず元気な内に思い切って老後を楽しもうという思いで、古道・歴史ウォークに参加して楽しんでいます。

人通りもめっきり少なくなつた古道側から、ビュンビュンと車の走る新しい街並みや、遠くの高速道路に見とれ、ふと前を見ると健脚な先輩(年齢でも)達は随分先を歩かれています。ことも度長、話を聞くと月1回、毎回参加されていて、他にも色んなウォーキング、山登りに参加されているとか、後姿は颯爽と足取りは軽く、思わず凄い凄い、スゴイ！！と感心しまくり。

私も冬のウォーキングの休みの間に足腰鍛えて、又春に始まったら“今年こそ”一回でも多く元気で参加できるように、そして何年か先に自分より若い方に元気な後姿を見てもらえ、自分がそうであつたように、久しぶりに来た人に「待とったんやでー」と言ってあげられたら良いのになあと思っています。



また、スクエアダンスと言う今まで聞いた事もない8人で踊るダンスも、苦戦しながら楽しんでいます。

理解し難く(エ、え、エ…、なんで出来へんのやろ…)の連発、頭の中はゴッチャ・ゴッチャ、それが脳には、とても良いとか、難しいだけに出来るとまたこれが面白くて楽しいダンス、鈍い私“だからこそ”脳が鍛えられる頭の体操ダンス、慣れてくると、とても楽しいダンス皆さんも始められてはいかがでしょうか！！

私は年やし何も出来へんわと諦めないで、新年の初めに好きな事を一つでも良いから始められたら、こんな事あんな事まだまだ自分に楽しい事きっと見つかりますよ。

さあ大きく息を吸い込み背中伸ばしたら、とても気持ちが良く元気が出るものです。友達と「ふれあい広場に行こかいな…」と誘いに行くのも、とても良い事です。ね。

そして【福祉ふれあい広場】が、もっともっと大勢の人が集い憩いの広場になったら良いのになあと、ボランティア・スタッフの一員として願っております。

六人部・三和地域包括支援センター

福知山市の委託を受けた、高齢者の総合相談窓口です。
高齢者のみなさまが、住み慣れた地域で健やかに安心して生活が続けられるよう、介護、福祉、健康、医療などのご相談に応じています。
地域包括支援センターは、市内に6か所設置されており、当センターは、上六人部・中六人部・下六人部・三和町全域を担当しています。

地域包括支援センターの役割

- 65歳以上の方の健康や介護などの相談を受け付けています。
 - ・介護保険の制度を利用するのにどうしたらよいか教えてほしい。
 - ・最近、物忘れがあるけど、これからの暮らしについて相談したい。
 - ・近所の一人暮らしの高齢の方が心配…などの相談に応じ、支援を行います。

- みなさんの権利を守る活動をしています。
 - ・財産管理に自信がなくなった時はどうしたらよいか分からない。
 - ・成年後見制度って、どんな制度？
 - ・虐待をされている高齢の方を発見した。
 - ・虐待をしてしまう…などの相談に応じ、支援を行います。

- 地域で自立して生活していくための支援をします。
 - ・要支援認定を受けた方の介護予防プランを立てて支援します。
 - ・今の健康を維持したい、身体機能回復を目指したい方の相談をお受けします。

福知山市三和町千束530番地（農業振興センター内）
電話 0773-58-2120（南・田村・小畑）
（土日祝以外 8:30~17:15）



ふれあい訪問配食

2月16日にひとりぐらし高齢者33名の皆様に各民生児童委員が夕食を配食して、ふれあい訪問を実施しました。

後正寺、大内山田地区につきましては、就任いただきました堀敦子民生児童委員が対応いたしました。

お元気な皆様と交流できて、後日「おいしかったよ。」という声を聞いて嬉しく思いました。これからも宜しくお願いします。

編集後記

中六人部地区福祉推進協議会の20周年記念式典が第70回福祉ふれあい広場と同日に開催することができました。

これまでの経過が大槻忠一様の講話の中に盛り込まれており、先輩諸氏の努力の中で今があることを実感しました。

今後とも中六人部地区福祉推進協議会の活動に皆様のご支援を宜しくお願いします。